

船橋市災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第109条において、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として位置づけられている社会福祉法人船橋市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）に対し、災害ボランティアセンターのシステム運営に要する費用を予算の範囲内において補助することにより、発災時における災害ボランティアセンターの運営業務の効率化を図ることを目的とする。

(補助対象経費)

第2条 災害ボランティアセンターシステム運営補助金（以下「補助金」という。）の交付対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、システム運営事業に要する費用のうち、次の各号のいずれかに該当するものとする。

- (1) 災害ボランティアセンターシステム導入初期費用
- (2) 災害ボランティアセンターシステム使用料
- (3) その他市長が必要と認める費用

(補助金の額)

第3条 補助金の額は、補助対象経費の総額の範囲内で市長が必要と認める額とする。

(補助要件)

第4条 市社協及び地区社協は、次の各号に掲げる要件を満たすよう努めるものとする。

- (1) 災害時において、市と連携及び協力し、災害ボランティアセンターの適正かつ効率的な運営を行うこと
- (2) 発災時の円滑なシステム運営に資するよう、平時から訓練等で当該システムを活用すること

(交付の申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする市社協は、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付申請書（第1号様式）に、次に掲げる書類を添えて市

長に申請しなければならない。

- (1) 補助金の交付を受けようとする事業の計画書及びこれに伴う収支予算書
 - (2) その他市長が必要があると認める書類
- (交付可否の決定等)

第6条 市長は、前条の規定による申請があったときは、その内容を審査し、補助金の交付を決定したときは、その旨を災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付決定通知書（第2号様式。以下「交付決定通知書」という。）により、市社協に通知する。

(計画変更等の申請及び承認)

第7条 前条の規定により補助金を交付する旨の決定の通知を受けた市社協は、補助金に係る事業（以下「補助事業」という。）の計画を変更（市長が認める軽微な変更を除く。）しようとするとき、又は補助事業を中止し、若しくは廃止しようとするときは、災害ボランティアセンターシステム運営事業計画変更等承認申請書（第3号様式）により、速やかに市長に申請しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申請があったときは、その内容を審査し、適當と認めたときは、災害ボランティアセンターシステム運営事業変更等承認書（第4号様式）により補助事業者に通知するものとする。

(実績報告)

第8条 市社協は、補助事業が完了したとき（廃止の承認を受けたときを含む。）は、その完了した日から起算して20日を経過する日又は補助金の交付決定に係る会計年度が終了する日のうちいづれか早い日までに、災害ボランティアセンターシステム運営補助金実績報告書（第5号様式）に次に掲げる書類添えて、市長に報告しなければならない。

- (1) 収支決算書
 - (2) 補助対象経費の支払が確認できる書類
 - (3) その他市長が必要があると認める書類
- (額の確定等)

第9条 市長は、前条の規定による報告を受けたときは、その内容を審査し、交付すべき補助金の額を確定し、その旨を災害ボランティアセンターシステム

運営補助金確定通知書（第6号様式）により、市社協に通知する。

- 2 市長は、市社協に交付すべき補助金の額を確定した場合において、既にその額を超える補助金が交付されているときは、期限を定めて、災害ボランティアセンターシステム運営補助金返還命令書（第7号様式。以下「補助金返還命令書」という。）により確定額を超える部分の補助金の返還を命ずるものとする。

（交付の時期）

第10条 補助金は、前条の規定により確定した額を補助事業が完了した後において交付する。ただし、市長が必要があると認めるときは、補助事業の完了前に交付することが出来る。

- 2 市社協は、前項ただし書の規定により補助事業の完了前に補助金の交付を受けようとするときは、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付請求書（第8号様式）に交付決定通知書の写しを添えて市長に請求しなければならない。

（交付決定の取消し）

第11条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、補助金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができるものとする。

- (1) 偽りその他不正の手段により、補助金を交付する旨の決定を受け、又は補助金の交付を受けたとき。
- (2) 船橋市暴力団排除条例（平成24年船橋市条例第18号）第2条第1号に規定する暴力団、同条第3号に規定する暴力団員等又は同条例第7条第1項に規定する暴力団密接関係者であることが判明したとき。
- (3) 交付を受けた補助金を目的以外に使用したとき。
- (4) この要綱又は補助金の交付決定に付した条件に違反したとき。

- 2 市長は、前項の規定により補助金の交付決定を取り消した場合は、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付決定取消通知書（第9号様式）により市社協に通知する。この場合において、補助事業の当該取消しに係る部分に關し、既に補助金が交付されているときは、期限を定めて補助金返還命令書によりその返還を命ずるものとする。

- 3 前2項の規定は、補助事業について交付すべき補助金の額の確定があった後においても適用があるものとする。

(消費税仕入控除税額に係る取扱い)

第12条 市社協は、第5条の規定による申請に当たって、補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額(補助対象経費に含まれる消費税及び地方消費税相当額のうち、消費税法(昭和63年法律第108号)の規定により仕入れに係る消費税額として控除できる部分の金額及び当該金額に地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の税率を乗じて得た金額との合計額に補助金の額を補助対象経費の総額で除して得た率を乗じて得た金額をいう。以下「消費税仕入控除税額」という。)がある場合には、これを減額して申請しなければならない。ただし、申請時において消費税仕入控除税額が明らかでないものについては、この限りでない。

- 2 市長は、前項ただし書の規定に基づき申請がなされたものについては、補助金の額の確定において消費税仕入控除税額を減額する旨の条件を付して、交付の決定を行うものとする。
- 3 第1項ただし書の規定に基づき申請をした市社協は、第8条の規定による実績報告を行うに当たって、消費税仕入控除税額が明らかな場合には、当該消費税仕入控除税額を減額して報告しなければならない。
- 4 市社協は、補助事業の完了後に、消費税及び地方消費税の申告により消費税仕入控除税額が確定した場合(消費税仕入控除税額が0円の場合を含む。)は、災害ボランティアセンターシステム運営補助金消費税仕入控除税額報告書(第10号様式)により、補助事業が完了した日の属する年度の翌々年度の6月30日までに市長に報告するとともに、これを返還しなければならない。ただし、前項の規定により消費税仕入控除税額を減額して実績報告を行った場合には、この限りでない。

(関係書類の整備)

第13条 市社協は、補助事業に係る会計帳簿及び根拠となる領収書等を整備し、補助事業が完了した日から10年間保存しなければならない。

(補則)

第14条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

第1号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付申請書

年 月 日

船橋市長 あて

所 在 地

団 体 名

代表者氏名

次のとおり、災害ボランティアセンターシステム運営補助金を受けたく、関係書類を添えて申請します。

補助年度	年度
補助対象経費総額	円
交付申請額	円
着手及び完了予定年月日	着手予定 年 月 日 完了予定 年 月 日
添付書類	(1) 補助金の交付を受けようとする事業の計画書 及びこれに伴う収支予算書 (2) その他
消費税及び地方消費税の適用に関する事項	<input type="checkbox"/> 消費税額を補助対象経費に含めている <input type="checkbox"/> 消費税額を補助対象経費に含めていない

第2号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付決定通知書

第 号
年 月 日

様

船橋市長

印

年 月 日付申請のあった災害ボランティアセンターシステム運営補助金の交付について下記のとおり決定したので、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により通知します。

記

1 交付決定額 円

2 交付条件

- (1) 補助事業の内容又は経費の配分の変更をするときは、市長の承認を得ること。
- (2) 補助事業を中止又は廃止するときは、市長の承認を得ること。
- (3) 補助事業が予定の期間内に完了しないとき又は遂行が困難となったときは、速やかに市長に報告してその指示を受けること。

第3号様式

災害ボランティアセンターシステム運営事業計画変更等承認申請書

年　　月　　日

船橋市長 あて

所 在 地

団 体 名

代表者氏名

年　　月　　日付交付決定のあった災害ボランティアセンターシステム運営事業を変更（中止・廃止）したいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

補助年度	年度
変更（中止・廃止）の理由	
(変更の場合)	(変更前)
補助事業の内容	(変更後)
変更（中止・廃止）年月日	年　　月　　日（予定）
添付書類	

第4号様式

災害ボランティアセンターシステム運営事業計画変更等承認書

第 号
年 月 日

様

船橋市長

印

年 月 日付申請のあった災害ボランティアセンターシステム運営事業計画変更等について下記のとおり決定したので、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により通知します。

記

1 承認する

補助に要する経費の配分の変更がある場合

変更後交付決定額 円

2 承認しない

理由

第5号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金実績報告書

年　　月　　日

船橋市長 あて

所 在 地

団 体 名

代表者氏名

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により、補助事業の実施状況を次のとおり報告します。

補助年度	年度
着手及び完了年月日	着手 年 月 日 完了 年 月 日
交付決定額	円
既交付額	円
補助対象経費精算額	円
添付書類	(1) 収支決算書 (2) 補助対象経費の支払が確認できる書類 (3) その他

第6号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金確定通知書

第 号
年 月 日

様

船橋市長

印

年 月 日付で実績報告のあった災害ボランティアセンターシステム運営事業について、次のとおり補助金の額を確定したので、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により通知します。

記

交付確定額 円

第7号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金返還命令書

第 号
年 月 日

様

船橋市長

印

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により、次のとおり補助金の返還を命ずる。

返還すべき金額	円
返還期限	年 月 日
返還を命ずる理由	
返還方法	
決定年月日	年 月 日
番 号	
補助年度	年度
交付決定額	円
既交付額	年 月 日 交付 円
	年 月 日 交付 円
	年 月 日 交付 円
	計 円
交付確定額	円

第8号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付請求書

年　　月　　日

船橋市長 あて

所 在 地

団 体 名

代表者氏名

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により、補助金の交付を次のとおり請求します。

決定年月日	年　　月　　日
番　　号	
補助年度	年度
交付決定額	円
既交付額	年　　月　　日交付　_____円 年　　月　　日交付　_____円 年　　月　　日交付　_____円 計　　_____円
今回交付請求額	円
未交付額	円
添付書類	(1) 補助金交付決定通知書の写し (2) その他

第9号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付決定取消通知書

第 号
年 月 日

様

船橋市長

印

年 月 日付けの災害ボランティアセンターシステム運営補助金の交付決定については、下記理由により全部（一部）取り消しましたので、災害ボランティアセンターシステム運営補助金交付要綱の規定により通知します。

交付決定額（取消後）	円
取消しの理由	
交付決定額（取消前）	円
決定年月日（取消前）	年 月 日
番号（取消前）	
補助年度	年度

第10号様式

災害ボランティアセンターシステム運営補助金消費税仕入控除税額報告書

年　　月　　日

船橋市長　あて

所 在 地

団 体 名

代表者氏名

年　　月　　日付けで交付決定のあった災害ボランティアセンターシステム運営補助金について、下記のとおり報告します。

記

1 交付確定額　　円

2 確定申告により確定した災害ボランティアセンターシステム運営補助金に
係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額　　円

※0円の場合はその理由にチェックすること

- 消費税の申告義務がない
- 簡易課税方式による申告を行っている
- 消費税法別表第3に掲げる法人等であって特定収入割合が5%を超える
- その他（　　）